

第 I 章 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、男性の視点から県民の男女共同参画に対する意識や家庭生活の役割分担の実施等を把握し、今後の県の施策を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査設計

- ①調査対象：埼玉県在住の満20歳以上の男性
 ②標本数：3,000人
 ③抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出方法
 ④地点設置

	地点数	標本数	標本比率 (%)		地点数	標本数	標本比率 (%)
南部地域	11	330	11.0	川越比企地域	11	330	11.0
南西部地域	10	300	10.0	西部地域	11	330	11.0
東部地域	16	480	16.0	利根地域	9	270	9.0
さいたま地域	17	510	17.0	北部地域	7	210	7.0
県央地域	7	210	7.0	秩父地域	1	30	1.0
				合 計	100	3,000	100.0

(注) 県内を10の地域に分け、地域ごとに人口に応じて「埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告(平成23年1月1日現在)」により100地点を無作為に設置し、1地点あたり30人を住民基本台帳より抽出した。

●地域区分と該当市町村

地域区分	地域内市町村(ゴシック体は該当市町村)
南部地域	川口市、蕨市、戸田市、鳩ヶ谷市
南西部地域	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
東部地域	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
さいたま地域	さいたま市
県央地域	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
川越比企地域	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
西部地域	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
利根地域	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、騎西町、北川辺町、大利根町、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、鷺宮町、杉戸町
北部地域	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町
秩父地域	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町

地域区分図



- ⑤調査方法：郵送配布－郵送回収法
- ⑥調査期間：平成23年11月25日（金）～12月16日（金）
- ⑦調査機関：株式会社サーベイリサーチセンター

3. 調査内容

- | | |
|----------------|------------------|
| (1) 男女平等に関する意識 | (5) ワーク・ライフ・バランス |
| (2) 家庭生活 | (6) ウーマノミクス |
| (3) 職場 | (7) 施策への要望 |
| (4) 地域活動 | |

4. 回収結果

- ①標本数 : 3,000人
- ②有効回収数 : 1,012人
- ③有効回収率 : 33.7%

5. 報告書の見方

- (1) 調査結果の数値は原則として回答率 (%) で表記している。%の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、n = と表記している。また、複数回答についても回答者の数としている。
- (2) 集計は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表記してある。このため、各%を足しあげても、100.0%にならない場合がある。また、複数回答可の質問では、母数に対する回答率のため、各回答率の足し上げは100.0%を超える場合がある。
- (3) 「時系列比較」を行っている部分は、埼玉県において過去に実施した調査の結果を用いている。なお、平成12年度と平成15年度の調査は訪問配布・訪問回収法で行っており、各年度の調査方法が異なっている。今回は、郵送配布・郵送回収法により実施した。
- (4) 分析の軸 (=縦軸) としてプロフィールや設問は、無回答を除いているため、各プロフィールの基数の合計が全体と一致しない場合がある。また、分析によっては、必要な選択肢を抽出して使用したり、複数の選択肢をまとめて使用しているところもある。
- (5) グラフや表のタイトルなどは、なるべく調査票そのままの表現を用いているが、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。
- (6) 回答者数が30未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

